

「盛岡市・都南村合併建設計画」の実績・成果及び未着手事業の今後の取扱いについて

市は、平成4年4月1日の盛岡市と都南村の合併に伴い、平成4年度から8年度までの5年間の期間とする盛岡市・都南村合併建設計画（以下「合併建設計画」という。）を策定し、都南地域の開発整備の方針を定め、これに基づき、盛岡市との速やかな一体化を推進して新しい中核都市づくりを進め、住民福祉の向上を図ってきた。

合併建設計画に位置付けた事業のうち、計画期間において完了することができなかった事業については、合併建設計画の期間が終了した後も、総合計画に位置付けて進捗に努めてきたが、合併から20年が経過したことを機に、これまでの実績や成果を整理するとともに、未着手事業の今後の取扱いを定める。

1 合併建設計画の実績・成果

(1) 各分野の実績・成果

① 都市基盤の整備

都市基盤の整備は、住民生活の向上や地域発展の基礎となるものであり、産業、経済、文化などのあらゆる分野に影響を及ぼすことから、津志田久保屋敷線や西見前永井線など幹線道路を整備し交通ネットワークを形成するとともに、都南中央第一地区や下永林第三地区の土地区画整理事業、盛岡南新都市開発整備事業などによる面的な整備を進めてきた。

平成4年度から8年度までの投資額は約71億円、計画に対して94.6%の執行率であったが、平成23年度までの投資額は約169億円、227.1%の執行率となっている。特に高い執行率を示しているのは、土地区画整理（291.4%）と盛岡南新都市開発整備（351.8%）である。

なお、集落地域整備については他事業（農業集落排水整備等）で整備が図られており、また、岩手飯岡駅周辺整備については現在土地区画整理事業で整備が進められている。

施策の成果について、合併当初と平成23年度末の状況を比較すると、市街化区域面積が799haから913haへと114ha増加し、行政区画面積に対する市街化区域面積の割合が8.8%から10.1%へと1.3%増加している。また、土地区画整理事業の整備面積が88haから232haへと144ha増加し、計画区域面積に対する整備済面積の割合は18.0%から47.4%へと29.4%増加している。

【投資実績】

(単位 千円)

事業名	計画額	H4年度～8年度		H4年度～23年度	
		投資額	執行率	投資額	執行率
幹線道路の整備	1,507,000	1,000,731	66.4 %	1,838,088	122.0 %
土地区画整理	3,749,067	5,504,806	146.8 %	10,924,470	291.4 %
盛岡南新都市開発整備	1,152,000	428,601	37.2 %	4,053,120	351.8 %
集落地域整備	200,000	0	0.0 %	0	0.0 %
岩手飯岡駅周辺整備	850,000	119,029	14.0 %	124,689	14.7 %
計	7,458,067	7,053,167	94.6 %	16,940,367	227.1 %

※ 合併建設計画に位置付けた事業について、計画額、投資額及び執行率（計画額に対する投資額の割合）を示している。②から⑤までの各分野についても同様である。

【成果指標】

項目		H4年度 当初 A	H23年度末 B	増減 B-A
市街化区域率	市街化区域面積	799 ha	913 ha	114 ha
	行政区域内面積	9,046 ha	9,046 ha	0 ha
	市街化区域面積／行政区域内面積	8.8 %	10.1 %	1.3 %
土地区画整理 面積	計画区域面積	489 ha	489 ha	0 ha
	整備面積	88 ha	232 ha	144 ha
	整備面積／計画区域面積	18.0 %	47.4 %	29.4 %
開発許可	開発許可面積	170.4 ha	208.5 ha	38.1 ha
	開発許可面積／行政区域内面積	1.9 %	2.3 %	0.4 %

※ 平成4年度の合併当初と平成23年度末の整備状況の比較を都南地域全域について示している。②から⑤までの各分野についても同様である。

② 生活環境の整備

安全で快適な住環境を確保するため、大沢馬場線など生活道路の整備、都南中央公園などの公園整備、沼橋川など準用河川の改修、上下水道の整備、交通安全施設の整備、第二柿ノ木団地など公共住宅の整備、消防署や消防車両など消防施設の整備などを進めてきた。

平成4年度から8年度までの投資額は約199億円、計画に対して80.1%の執行率であったが、平成23年度までの投資額は約293億円、118.3%の執行率となっている。特に高い執行率を示しているのは、上水道整備（217.7%）であるが、これは、水道供給を上水道に一元化し、安定供給体制の整備を図ったものである。

施策の成果について、合併当初と平成23年度末の状況を比較すると、公園面積が8.35haから27.50haへと19.15ha増加したことにより、1人当たり公園面積が1.94㎡から5.56㎡へと3.62㎡増加している。また、市道改良率が50.1%から62.3%へと12.2%増加し、水道普及率や公共下水道普及率も大きく増加している。

【投資実績】

(単位 千円)

事業名	計画額	H4年度～8年度		H4年度～23年度	
		投資額	執行率	投資額	執行率
生活道路の整備	6,583,700	3,310,582	50.3 %	5,568,350	84.6 %
公園整備	1,081,900	1,036,326	95.8 %	1,070,726	99.0 %
河川整備	1,706,250	1,415,295	82.9 %	2,190,072	128.4 %
上水道整備	1,533,350	3,337,766	217.7 %	3,337,766	217.7 %
下水道整備	9,602,526	8,865,313	92.3 %	14,450,740	150.5 %
公営住宅整備	3,092,524	1,107,291	35.8 %	1,321,041	42.7 %
交通安全施設整備	511,350	320,911	62.8 %	591,279	115.6 %
消防防災施設整備	602,721	416,239	69.1 %	679,514	112.7 %
花と緑のまちづくり	8,500	1,483	17.4 %	1,483	17.4 %
国土調査	65,400	49,986	76.4 %	101,473	155.2 %
計	24,788,221	19,861,192	80.1 %	29,312,444	118.3 %

【成果指標】

区 分		H 4 年度 当初 A	H23年度末 B	増減 B - A
1人当たり公園面積	公園整備面積	8.35 ha	27.50 ha	19.15 ha
	行政区域内人口	42,992 人	49,473 人	6,481 人
	公園整備面積／行政区域内人口	1.94 m ² /人	5.56 m ² /人	3.62 m ² /人
市道改良率	改良済延長	261,768 m	332,536 m	70,768 m
	実延長	522,356 m	534,420 m	12,064 m
	改良済延長／実延長	50.1 %	62.2 %	12.1 %
市道舗装率	舗装延長	314,054 m	371,053 m	56,999 m
	舗装延長／実延長	60.1 %	69.4 %	9.3 %
市道歩道整備延長	歩道延べ延長	51,041 m	85,502 m	34,461 m
	歩道延べ延長／実延長	9.8 %	16.0 %	6.2 %
橋梁	橋梁数	223 橋	226 橋	3 橋
	うち木橋数	5 橋	2 橋	△3 橋
	永久橋比率	97.8 %	99.1 %	1.3 %
公営住宅	住宅戸数	229 戸	218 戸	△11 戸
	うち 木造	69 戸	20 戸	△49 戸
消防水利 (私設分を含む。)	消火栓数	246 基	658 基	412 基
	防火水槽 (20m ³)	67 基	65 基	△2 基
	防火水槽 (40m ³)	110 基	179 基	69 基
水道普及率	給水人口	39,372 人	48,731 人	9,359 人
	給水人口／行政区域内人口	91.6 %	98.5 %	6.9 %
公共下水道普及率	処理区域内人口	14,207 人	36,320 人	22,113 人
	処理区域内人口／行政区域内人口	33.0 %	73.4 %	40.4 %
公共下水道水洗化普及率	水洗化人口	11,508 人	34,416 人	22,908 人
	水洗化人口／行政区域内人口	26.8 %	69.6 %	42.8 %

③ 産業の振興

地域を活性化させ真の豊かさを確保するためには、均衡のとれた産業の発展が不可欠であることから、手代森地区農免道整備事業、上飯岡第一地区ほ場整備事業、かんがい排水などの農業生産基盤整備、上飯岡地区、下飯岡地区等の農業集落排水事業などの農村生活環境整備、各種産業振興などを進めてきた。

平成4年度から8年度までの投資額は約61億円、計画に対して73.9%の執行率であったが、平成23年度までの投資額は約102億円、124.6%の執行率となっている。特に高い執行率を示しているのは、農業生産基盤整備(202.1%)と農村生活環境整備(223.6%)である。

施策の成果について、合併当初と平成23年度末の状況を比較すると、農業集落排水事業の排水区域内人口が720人から4,209人へと3,489人増加し、普及率は1.7%から8.5%へと6.8%増加している。また、農道延長は、農免道整備事業(手代森第一期及び第二期)に伴う線形

改良により、2,914mから2,739mと175m短縮している。林道延長は、17,455mから27,597mと10,142m延伸している。

なお、工場流通団地整備については用地取得予定地にすでに市中央卸売市場が整備されており、また、観光施設整備については事業内容が確定しなかったことから、いずれも着手を見送ってきた。

【投資実績】

(単位 千円)

事業名	計画額	H4年度～8年度		H4年度～23年度	
		投資額	執行率	投資額	執行率
農業振興	469,566	559,849	119.2 %	559,849	119.2 %
農業生産基盤整備	529,270	401,172	75.8 %	1,069,658	202.1 %
農村生活環境整備	3,099,073	4,022,271	129.8 %	6,930,814	223.6 %
畜産振興	8,705	8,238	94.6 %	8,238	94.6 %
林業振興	1,041,000	1,056,588	101.5 %	1,635,152	157.1 %
工場流通団地整備	3,000,000	3,155	0.1 %	4,415	0.1 %
観光施設整備	42,000	0	0.0 %	0	0.0 %
計	8,189,614	6,051,273	73.9 %	10,208,126	124.6 %

【成果指標】

区 分		H4年度 当初 A	H23年度末 B	増減 B－A
農業集落排水 普及率	排水区域内人口	720 人	4,209 人	3,489 人
	排水区域内人口／行政区域内人口	1.7 %	8.5 %	6.8 %
農業集落排水 水洗化普及率	水洗化人口	617 人	3,132 人	2,515 人
	水洗化人口／行政区域内人口	1.4 %	6.3 %	4.9 %
農道	延長	2,914 m	2,739 m	△175 m
林道	延長	17,455 m	27,597 m	10,142 m

④ 住民福祉の向上

急速な高齢化や核家族化などの社会の変化に伴う多様な福祉ニーズに適切に適応するため、特別養護老人ホームの整備、見前地区や乙部地区への児童センターの整備など、総合的、体系的な福祉施策を推進してきた。

平成4年度から8年度までの投資額は約19億円、計画に対して47.6%の執行率であったが、平成23年度までの投資額は約24億円、58.7%の執行率となっている。

施策の成果について、合併当初と平成23年度末の状況を比較すると、私立保育所が2園増え（アイリス保育園、みどり保育園）、公立保育所（津志田保育園）の定員を増としたことにより、保育所の入所定員が720人から960人へと240人増加している。また、児童センターについては、3館から7館へと4館増加しており、特別養護老人ホームについては、3施設が開設されている。

【投資実績】

(単位 千円)

事業名	計画額	H4年度～8年度		H4年度～23年度	
		投資額	執行率	投資額	執行率
地域福祉施設整備	1,593,066	927,046	58.2 %	927,046	58.2 %
高齢者福祉施設整備	530,784	184,900	34.8 %	262,710	49.5 %
児童福祉施設整備	939,348	836,395	89.0 %	1,168,234	124.4 %
保健施設整備	175,300	0	0.0 %	42,644	24.3 %
勤労者福祉施設整備	854,000	0	0.0 %	0	0.0 %
計	4,092,498	1,948,341	47.6 %	2,400,634	58.7 %

【成果指標】

区 分		H4年度 当初 A	H23年度末 B	増減 B-A
保育所	保育所数	8 園	10 園	2 園
	入所定員	720 人	960 人	240 人
	入所者数	634 人	1,102 人	468 人
	入所者在所率 ※ (入所者数/入所定員数)	88.1 %	114.8 %	26.7 %
児童センター	センター数	3 館	7 館	4 館
老人福祉施設	特別養護老人ホーム数	0 施設	3 施設	3 施設
	入所定員	0 人	190 人	190 人
	入所者数	0 人	190 人	190 人
	入所率 (入所者数/入所定員数)	0 %	100 %	100 %

※ 入所者在所率

保育所の床面積等により、入所定員数を超えて入所させることが可能であるため、100%を超える場合がある。

⑤ 教育文化の向上

住民が生涯にわたって生きがいと創造性を発揮できる環境を整備するため、都南東小学校や飯岡小学校など学校施設の整備、見前、飯岡、乙部各地区公民館、キャラホール、都南図書館など社会教育施設を整備するとともに、社会体育施設の整備として見前南中学校への夜間照明施設の整備を行ってきた。

平成4年度から8年度までの投資額は約91億円、計画に対して72.1%の執行率であったが、平成23年度までの投資額は約95億円、75.1%の執行率となっている。

施策の成果について、合併当初と平成23年度末の状況を比較すると、文化施設数が1館から3館に増えており、公民館（自治公民館を除く。）の利用者数は39,457人から182,984人へと143,527人増加している。

【投資実績】

(単位 千円)

事業名	計画額	H4年度～8年度		H4年度～23年度	
		投資額	執行率	投資額	執行率
学校施設整備	3,942,777	3,773,747	95.7 %	4,051,572	102.8 %
社会教育施設整備	8,621,482	5,279,469	61.2 %	5,376,589	62.4 %
社会体育施設整備	51,720	57,680	111.5 %	57,680	111.5 %
野球場整備	20,000	0	0.0 %	0	0.0 %
計	12,635,979	9,110,896	72.1 %	9,485,841	75.1 %

【成果指標】

区 分		H4年度 当初 A	H23年度末 B	増減 B-A
文化施設	施設数	1 館	3 館	2 館
公民館（自治公民館を除く。）	年間利用者数	39,457 人	182,984 人	143,527 人

(2) 総括

合併建設計画の主要事業の計画額は約572億円としており、計画期間である平成4年度から8年度までの実績は、事業費で約440億円、計画に対して77.0%の執行率となっている。

計画期間中に実施できなかった事業については、実施環境、事業の必要性などを勘案しながら、実施に努めてきたところであり、この結果、平成23年度までの投資額は約683億円、計画額に対する執行率は119.6%となっている。

【合併建設計画投資実績 総括】

(単位 百万円)

分野	計画額	H4年度～8年度		H4年度～23年度	
		投資額	執行率	投資額	執行率
① 都市基盤の整備	7,458	7,053	94.6 %	16,940	227.1 %
② 生活環境の整備	24,788	19,861	80.1 %	29,312	118.3 %
③ 産業の振興	8,190	6,051	73.9 %	10,208	124.6 %
④ 住民福祉の向上	4,092	1,948	47.6 %	2,401	58.7 %
⑤ 教育文化の向上	12,636	9,111	72.1 %	9,486	75.1 %
計	57,164	44,025	77.0 %	68,347	119.6 %

備考 百万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

合併建設計画に基づき各分野の取組を進めてきた結果、土地区画整理事業、盛岡南新都市開発整備事業、上下水道事業などへの重点的な投資により都市基盤や生活基盤の整備が進み、また、保育所の入所定員の拡大、児童センターや特別養護老人ホームの整備などにより福祉施策の推進が図られ、学校施設やキャラホール、都南図書館など社会教育施設の整備により教育文化面での環境も向上しているなど、着実な成果が得られている。

このように、合併建設計画は、都南地域のまちづくり、そして今日の市勢に、重要な役割を果たしてきた。

2 合併建設計画の主要事業の今後の取扱いについて

(1) 合併建設計画の主要事業の着手等の状況

合併建設計画には136の主要事業を盛り込んでいるが、計画期間である平成4年度から8年度までの間に完了した事業は54事業である。計画期間終了後から平成23年度までに54事業を完了しており、9事業については、現在も事業を継続している。完了事業と継続事業を合わせた着手済みの事業は117事業で、計画事業数に対する着手率は86.0%となっている。

現在、19事業が未着手となっている。

【合併建設計画の主要事業の着手等の状況】

(単位 事業)

分野	計画事業 A	H4～8 完了事業 B	H9～23 完了事業 C	完了率 (B+C)/A	継続実 施事業 D	事業 着手率 (B+C+D)/A	未着手 事業
① 都市基盤の整備	18	3	10	72.2 %	5	100.0 %	0
② 生活環境の整備	48	19	20	81.3 %	2	85.4 %	7
③ 産業の振興	31	11	14	80.6 %	0	80.6 %	6
④ 住民福祉の向上	18	12	3	83.3 %	1	88.9 %	2
⑤ 教育文化の向上	21	9	7	76.2 %	1	81.0 %	4
計	136	54	54	79.4 %	9	86.0 %	19

(2) 未着手事業に係る現況、課題及び方向性の整理

合併建設計画の主要事業のうち、現在も未着手となっている事業について、各事業の現況、課題及び方向性を整理すると、次のとおりである。

【未着手事業の現況、課題等】

分野	No	事業	現況、課題及び方向性
② 生活環境の整備	1	道路改良事業 (三本柳線改良)	見前中学校への通学路。交通量が多く歩道を設置する必要があるため、平成25年度から事業に着手する。
	2	公園整備事業 (飯岡山公園)	自然環境を保全することを目的として、飯岡山の一部を風致公園として整備することを計画していたが、現状での自然環境の保全が望ましいと考えられることから、実施を見送る。
	3	住宅宅地関連公共施設 整備事業(西仙北北川 線改良)	盛岡南公園周辺の民間宅地開発に併せて道路改良を行う計画であったが、具体的な民間開発計画はなく、現時点においては整備の必要はないことから、実施を見送る。 なお、西仙北北川線は、都市計画道路として都市計画決定されているが、平成32年度を整備目標とする「盛岡市都市計画道路整備プログラム(平成23年2月)」では整備対象とされておらず、将来において整備を検討する道路とされている。

分野	No	事業	現況，課題及び方向性
	4	住宅宅地関連公共施設整備事業（下水道整備）	盛岡南公園周辺の民間宅地開発に併せて面的整備を行う計画であったが，具体的な民間開発計画はなく，現時点においては整備の必要はないことから，実施を見送る。 なお，当該地は，市公共下水道基本計画区域であるが，事業計画区域とはなっていない。
	5	交通安全施設整備事業（渡船場線）	見前中学校への通学路。交通量が多く歩道を設置する必要があるため，引き続き，実施に向けて調整を進める。
	6	交通安全施設整備事業（乙部野菖蒲田線）	都南東小学校への通学路。交通量が多く歩道を設置する必要があるため，引き続き，実施に向けて調整を進める。
	7	交通安全施設整備事業（乙町線）	都南東小学校への通学路。バス路線であり，交通量が多く，歩道を設置する必要があるため，引き続き，実施に向けて調整を進める。
③ 産業の振興	8	団体営農道整備事業（江柄地区）	紫波町にまたがった整備計画であるが，紫波町においても整備は計画されておらず，市単独の実施は困難であることから，実施を見送る。
	9	団体営農道整備事業（大沢田地区）	市道石神線及び大森1号線を農道として整備する計画であるが，周辺には，市道乙部樹園地2号幹線及び市道和山線が整備されており，本事業により整備しようとしている農道の代替機能が確保されていることから，実施を見送る。
	10	民有林林道開設事業（箱ヶ森線）	当該地域における間伐の実績は無く，関係者からの要望もないことから，実施を見送る。
	11	工場流通業務施設用地取得整備事業	計画地には，既に盛岡市中央卸売市場が整備されており，流通業務施設として一定の目的を達成している。 ※ 「着手済み（完了事業）」とする。
	12	アップルロード整備事業（東部地区）	合併建設計画では，県事業で整備を進めている農道（アップルロード）に，観光施設として，東屋，ベンチ等を整備することとしている。 農道（アップルロード）の整備によって，観光スポットとして一定の効果が創出されたことから，実施を見送る。
	13	朝島山展望台整備事業	展望台を整備する計画であったが，山頂付近は相当規模の森林伐採をしなければ眺望が確保できず，自然保護などの課題があることから，実施を見送る。 なお，平成7年度には，近郊自然歩道・大ヶ生朝島山コースを開設し，案内板や方向板の設置のほか，散策マップを作成している。

分野	No	事業	現況，課題及び方向性
④ 住民福祉の向上	14	児童館建設(用地取得)事業 (下飯岡，都南中央第二地区)	<p>下飯岡地区については，平成4年度に，圃場整備による換地により，用地取得済み。</p> <p>なお，平成25年度に上飯岡児童センター分室を設置することとしている。</p> <p>都南中央第二地区については，用地取得の目処が立たず，また，津志田小学校区には津志田児童センターが整備済みであることから，実施を見送る。</p> <p>※ これまで未着手事業としてきたが，下飯岡地区の用地が取得済みであることから，「着手済み事業」として取り扱う。</p>
	15	雇用労働センター建設事業	<p>合併建設計画では，勤労青少年ホーム，働く婦人の家，屋内プール，テニスコート等の機能を有する施設の整備を計画している。</p> <p>現在，都南地域には，都南勤労福祉会館，ふれあいランドいわて等があり，雇用労働センターを代替する機能は確保されているものと判断することから，実施を見送る。</p> <p>※ 合併建設計画では「雇用促進事業団」による整備を予定していたが，平成11年10月に同事業団が解散し，その後「独立行政法人雇用・能力開発機構」に移行したが，同機構も平成23年10月に解散している。</p>
⑤ 教育文化の向上	16	永井小学校整備事業 (校舎増築)	<p>児童数が合併時から大幅に減少し，近年は横ばいで推移しており，現時点で，校舎増築の必要はないことから，実施を見送る。</p> <p>児童数（H4）516人，（H24）340人</p>
	17	地区公民館整備事業 (見前南)	平成25年度に基本構想を策定し，整備を進める。
	18	村民研修バス購入事業	合併当初の目的である「研修バス」としての役割は，地域活動バス（せきれい号）の活用により果たされることから，実施を見送る。
	19	野球場整備事業（計画調査）	<p>合併建設計画では，東部地区に野球場を整備することとし，これに係る調査費を計上している。</p> <p>野球場については，現在，盛岡南公園を適地として整備を検討することとしているが，早期に具体的な整備方針を決定することとしている。</p> <p>また，東部地区にはスポーツ施設を整備することとし，現在，地域との間で協議を行っている。当該施設については，「盛岡市スポーツ推進計画」（平成25年3月策定予定）に位置付け，できるだけ早期に整備することとしている。</p>

(3) 未着手事業の今後の取扱い

上記(2)を踏まえ、未着手事業の取扱いを次のように整理する。

区分	分野	事業
完了事業 (1事業)	③ 産業の振興	工場流通業務施設用地取得造成事業
着手済み事業 (1事業)	④ 住民福祉の向上	児童館建設(用地取得)事業 (下飯岡, 都南中央第二地区)
平成25年度から 実施する事業 (2事業)	② 生活環境の整備	道路改良事業(三本柳線)
	⑤ 教育文化の向上	地区公民館整備事業(見前南)
引き続き実施に 向けて調整を進 める事業 (4事業)	② 生活環境の整備	交通安全施設整備事業(渡船場線)
		交通安全施設整備事業(乙部野菖蒲田線) 交通安全施設整備事業(乙町線)
現時点で実施を 見送る事業 (11事業)	② 生活環境の整備	野球場整備事業(計画調査)
		公園整備事業(飯岡山公園)
		住宅宅地関連公共施設整備事業(西仙北北川線) 住宅宅地関連公共施設整備事業(下水道整備)
	③ 産業の振興	団体営農道整備事業(江柄地区) 団体営農道整備事業(大沢田地区) 民有林林道開設事業(箱ヶ森線) アップルロード整備事業(観光施設整備) 朝島山展望台整備事業
		④ 住民福祉の向上
⑤ 教育文化の向上	永井小学校整備事業(校舎増築) 村民研修バス購入事業	

「現時点で実施を見送る事業」については、将来において必要性が生じたときは、その都度、手法や効果などを勘案しながら、実施について検討する。

3 「市道新設改良整備事業(77路線)」の未整備路線の今後の取扱いについて

「市道新設改良整備事業(77路線)」のうち、未整備となっている36路線(未着手26路線, 休止中10路線)の今後の取扱いは、次のとおりとする。

区分	路線
順次、整備に着手する路線 (6路線)	割船線, 境観音堂線※, 大沢田線※, 北街道線※, 滝村線※, 虫壁線※,
引き続き整備に向けて調整を進め る路線(3路線)	羽場線, 豊川線※, 辻屋敷線※

区分	路線
現時点で整備を見送る路線 (27路線)	田中西線, 藤島2号線, 八重郷2号線, 手代森線, 黒川中通線, 草志田線, 黒川高見線, 羽場南百目木線, 木伏線, 岡田線, 大柳北線, 猪沢線, 法領田線, 蛭川4号線, 上堰線, 西村生畔線, 漆田線, 羽場新田3号線, 塚根線, 上田の沢1号線, 西見前中島線, 木伏松島線, 南河南線, 四ツ長線, 名飯線※, 下谷内線※, 宮崎古越線※

備考 ※は整備を休止している路線である。

「現時点で実施を見送る路線」については、将来において必要性が生じたときは、その都度、手法や効果などを勘案しながら、整備について検討する。